

あの夏の日の記憶

「日曜寸言」040808

の一番上座には、途中失明者
 が、座し、僕は、最後の正座し
 て、家族の我が家だつた。祖
 父は、この二月の大雪山に他
 界し、父は二月の大雪に他
 召し、近衛連隊に入隊した。ま
 ま、音不通。二人の叔母と三
 人の姉不在。勤奉仕で早朝
 名が不在。か、て、非戦員と
 い、う、わけである。正座した
 数、外は、抜ける。青空。
 乾、燥、した、白い、庭、土、から、反、射、
 光、線、が、締、め、切、つ、た、障、子、紙、に、映、
 つ、て、煤、だら、け、の、天、井、を、こ、う、
 こうと照らしていた。
 勢、と、帝、国、の、現、状、と、鑑、み、非
 常、の、措、置、を、以、て、時、局、を、収、拾、せ
 む、と、欲、し、茲、に、忠、良、な、る、爾、臣
 民、に、告、ぐ、。朕、は、帝、国、政、府、を、し
 て、米、英、支、蘇、四、国、に、對、し、其、の
 共、同、宣、言、を、受、諾、す、る、旨、通、告、
 せ、し、め、つ、た、。受、諾、す、る、旨、通、告、
 が、始、ま、つ、た、。玉、音、放、送、
 ス、タ、テ、イ、ツ、ク、の、民、ラ、ジ、オ、の
 は、ま、こ、と、に、聴、き、づ、く、内、容、
 も、5、歳、の、少、年、の、理、解、す、る、と、こ
 る、で、は、な、い、か、ら、ツ、ク、ホ、ウ、
 て、聞、こ、え、て、く、ら、ツ、ク、ホ、ウ、
 シ、の、鳴、き、こ、え、て、く、ら、ツ、ク、ホ、ウ、
 し、の、鳴、き、こ、え、て、く、ら、ツ、ク、ホ、ウ、
 頭、を、置、に、つ、け、て、号、泣、し、始、め、た、。

視、覚、障、害、者、の、祖、母、は、静、か、に、立、
 ち、上、つ、つ、て、何、れ、い、い、に、足、を、引、き、
 し、上、つ、つ、て、何、れ、い、い、に、足、を、引、き、
 つ、つ、て、何、れ、い、い、に、足、を、引、き、
 場、で、何、れ、い、い、に、足、を、引、き、
 の、種、に、長、々、と、泣、き、な、ら、な、い、
 一、種、に、長、々、と、泣、き、な、ら、な、い、
 いた、こ、も、及、ば、な、か、つ、た、。こ、の、時、
 1、5、日、の、午、後、1、時、4、5、分、に、
 出、た、。そ、の、日、の、午、後、1、時、4、5、分、に、
 味、の、分、か、な、い、配、は、無、き、だ、ら、な、い、
 僕、の、満、腔、を、埋、め、た、。小、児、が、
 結、核、と、診、断、さ、れ、た、。小、児、が、
 療、養、所、に、入、院、し、た、。小、児、が、
 と、た、だ、だ、と、弱、り、し、て、い、く、だ、ら、な、い、
 る、の、は、煩、わ、し、く、な、ら、な、い、
 父、が、作、つ、た、柿、の、枝、を、庭、に、
 ゴ、シ、ヨ、柿、の、枝、を、庭、に、
 っ、ら、ん、こ、に、柿、の、枝、を、庭、に、
 間、に、想、い、出、す、。を、つ、く、い、れ、
 う、に、想、い、出、す、。を、つ、く、い、れ、
 そ、し、て、あ、の、日、が、や、つ、て、く、る、
 な、る、と、今、は、丸、い、お、尻、が、よ、み、
 が、も、つ、て、姿、の、丸、い、お、尻、が、よ、み、
 満、腔、を、満、た、す、。悲、し、み、の、塊、が、よ、み、
 児、核、を、こ、ら、す、。悲、し、み、の、塊、が、よ、み、
 乗、り、越、え、て、い、ら、す、。悲、し、み、の、塊、が、よ、み、
 い、さ、み、が、あ、の、子、供、や、孫、に、な、り、
 し、み、が、あ、の、子、供、や、孫、に、な、り、
 に、み、が、あ、の、子、供、や、孫、に、な、り、
 龍、介、が、僕、の、心、を、中、に、は、な、い、
 不、安、が、僕、の、心、を、中、に、は、な、い、
 日、外、に、去、る、の、悲、し、み、が、あ、の、
 が、戻、つ、て、こ、こ、に、あ、る、。あ、の、
 う、が、日、外、に、去、る、の、悲、し、み、が、あ、の、
 と、よ、み、が、こ、こ、に、あ、る、。あ、の、
 ら、ワ、あ、る、。あ、の、
 ら、ワ、あ、る、。あ、の、
 ら、ワ、あ、る、。あ、の、